

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	3038	(H.26)No.	3038
-----------	------	-----------	------

事務事業名	開業医救急車受入支援補助金		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	地域医療室	山本有志	

会計区分	事業コード	250506
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	保健衛生総務費	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	開業医救急車受入支援補助金	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施 策	2	地域医療
	小 施 策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
開業医療機関における救急搬送患者の受入れ体制を充実させることにより、安定的な救急医療体制を確保するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。
事業内容
本市の救急医療に対応するため、名賀医師会に所属する開業医療機関に対して、名張市消防本部の救急車で搬送される患者の受入れについて協力をお願いするとともに、その受入れに対する支援を行うことにより、救急医療体制の補完および充実を図る。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	実績額 1,505,000円 <b>【内訳】</b> 1. 10,000円×85件=850,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×131件=655,000円 上記(1)、(2)以外のとき	予算額 2,000,000円 <b>【内訳】</b> 1. 10,000円×135件=135,000円 (1)午後5時から翌日の午前8時45分まで (2)休日の午前8時45分から午後5時まで 2. 5,000円×130件=650,000円 上記(1)、(2)以外のとき	平成27年度と同様に実施予定	平成27年度と同様に実施予定	平成27年度と同様に実施予定

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	1,505千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 1,505	2,000	2,000	2,000	2,000
人工数					
職員	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,125千円	1,125千円	1,125千円	1,125千円	1,125千円
①+②総事業費	(0千円) 2,630千円	3,125千円	3,125千円	3,125千円	3,125千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
救急車を利用する軽症患者を開業医が受け入れ、重症(二次救急)患者を輪番体制により実施している二次医療機関が受け入れることにより、一次医療・二次医療の役割分担の充実が図れた。また、救急車の適正利用については引き続き啓発していく必要がある。	かかりつけ医をもって、早めの受診に努めることや、救急車の適正利用を呼びかける広報掲載や、出前トークなど啓発事業に取り組む。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	救急車を利用する軽症患者を、開業医が受け入れることにより、一次医療・二次医療の役割分担が明確になり、救急医療が円滑に実施できる。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	地域住民が安心・安全に生活できるまちづくりを基本施策に掲げている地域が多く、一次医療・二次医療の役割分担を明確にすることにより、医療体制の充実に繋がる。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
救急医療体制を円滑に実施するためには、効果的な事業であるため、現行どおり継続する。	